

## 地域活性化のための資金の確保（要約案）

### 1. 現状認識と対応の基本的考え方

#### 地方における資金循環の現状

- ・ 個人金融資産→全国約 1500 兆円 [うち個人預金（国内銀行）約 342 兆の地方圏シェア約 4 割]
- ・ 地域預貸率の経年的低下（地方圏は 50%～60%台と極めて低い）
- ・ 地方部では、中小企業、NPO など地域活性化の担い手が資金調達の困難に直面

↓  
地域活性化のための資金が地域で循環していない

↓  
地方における「実感を伴う小さな資金循環」の形成

#### (I) 地域市場金融の円滑化

- ・ 出融資に係る企業情報の非対称性
- ・ 不動産等の保有資産担保中心の融資慣習（ベンチャー等の審査体制不十分）

↓  
貸し手側の審査能力（目利き力）、経営支援能力の強化等

#### (II) 「新たな公」の考え方に基づく企業力、個人資産の活用

- ・ 企業による CSR や個人の投資など「公」の考え方に基づく投資行動の顕在化の促進

↓  
民間資金の誘導を促進する土壌、枠組みの形成

### 2. 民間市場での資金確保における取組の方向

#### 中小企業、NPO等の事業資金等の確保

- ・ リレーションシップ・バンキング、コミュニティ・クレジット手法の活用、地域密着型金融の促進
- ・ 既存金融機関や都市部の専門家のテクニカル・アシスタンス機能の活用 ほか

↓  
民間の金融ノウハウを活用した地域における円滑な資金循環の実現

### 3. 「新たな公」の考え方に基づく「志」がある企業、個人の力の活用等

#### 企業力の地域活性化への活用

- ・ CSR の考え方を基本とした企業力の地域活性化への活用に向けた税制上の工夫・検討等

#### 「志」を持つ個人による地域貢献型の資産活用

- ・ 地域出身者等の個人が持つ地域貢献の「志」の顕在化、地域貢献の担い手等への投資に向けた気運醸成、税制上の工夫・検討等

#### 市場における資金循環を誘導する行政の呼び水機能の発揮等

- ・ 地域貢献事業をファイナンスするファンド組成の支援
- ・ NPOバンク、コミュニティファンド等の形成の促進・支援

↓  
行政の呼び水機能等により「志」ある資金を誘導、  
地域貢献投資を促進